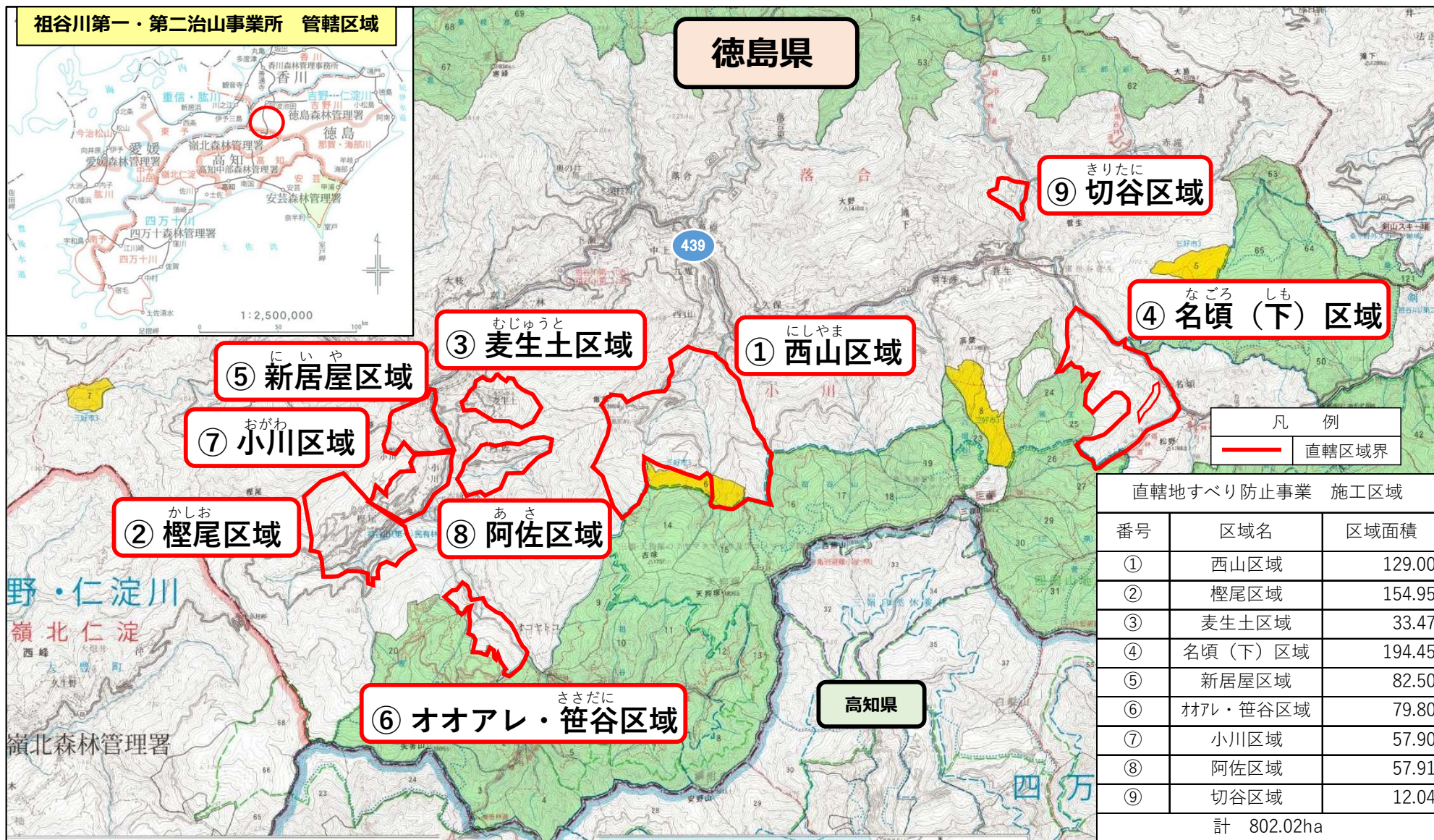


祖谷川地区 直轄地すべり防止事業（四国森林管理局）

当地区は、徳島県三好市の吉野川支流祖谷川沿いに位置し、急峻な地形で破碎帯特有の脆弱な地質構造を有するため、従来から豪雨等により地すべりが多発していました。

当地区の地すべり対策は、規模が著しく大きく、高度な技術を必要とすることから、徳島県等の要望を受け、昭和39年度に直轄地すべり防止事業に着手し、その後も豪雨災害等に伴い地すべりが頻発したことから、地すべりの滑動状況に応じて施工区域を拡大し、各区域の復旧に取り組んでいます。



祖谷川地区 全体計画（概要）

【全体計画】 令和7年策定

- ・ 事業期間
昭和39年度～令和16年度（71年間）

- ・ 全体計画額
345.5億円

【主要工事計画】

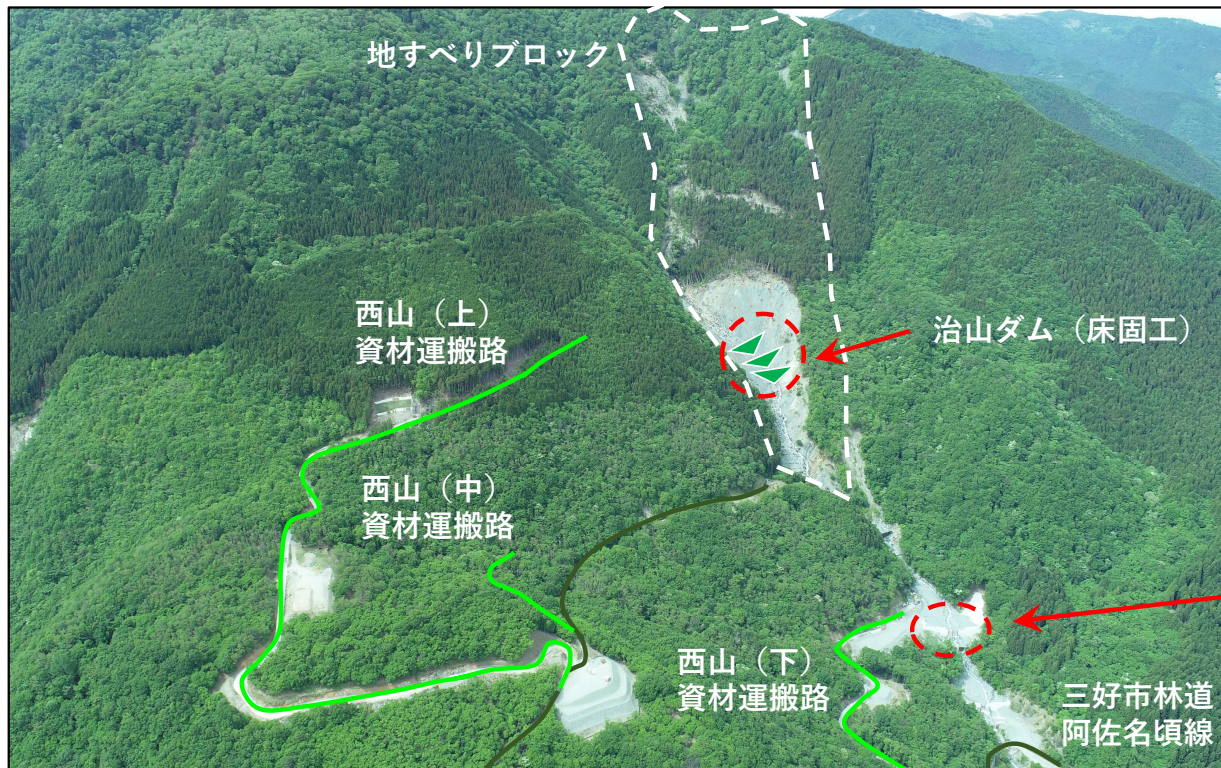
治山ダム	150基
山腹工	11.67ha
資材運搬路	13.07km

【事業進捗率】 ※令和7年度末時点

- ・ 計画額 345.5億円 実行額 277.8億円 80%

事業実施状況 ① 西山区域

西山区域 遠景



地すべり対策工 参考
(嶺北署沖(下)排水トンネル工)



集水ボーリング



治山ダム(谷止工) 施工状況 (令和5年)



地すべりブロック内では、亀裂現象が確認され、経年の地すべり動態観測により、地すべり地内に豊富な地下水が存在することが明らかになっており、この地下水を排除する目的で地すべり対策工（排水トンネル工、集水井工^{しゅうすいせいこう}）を計画しています。

地すべりブロック末端部では、度重なる地すべり活動で、既設治山ダムが被災し、現在も大量の土石が堆積しているため、治山ダム^{たにどめこう}（谷止工、床固工^{とこがためこう}）を施工しています。

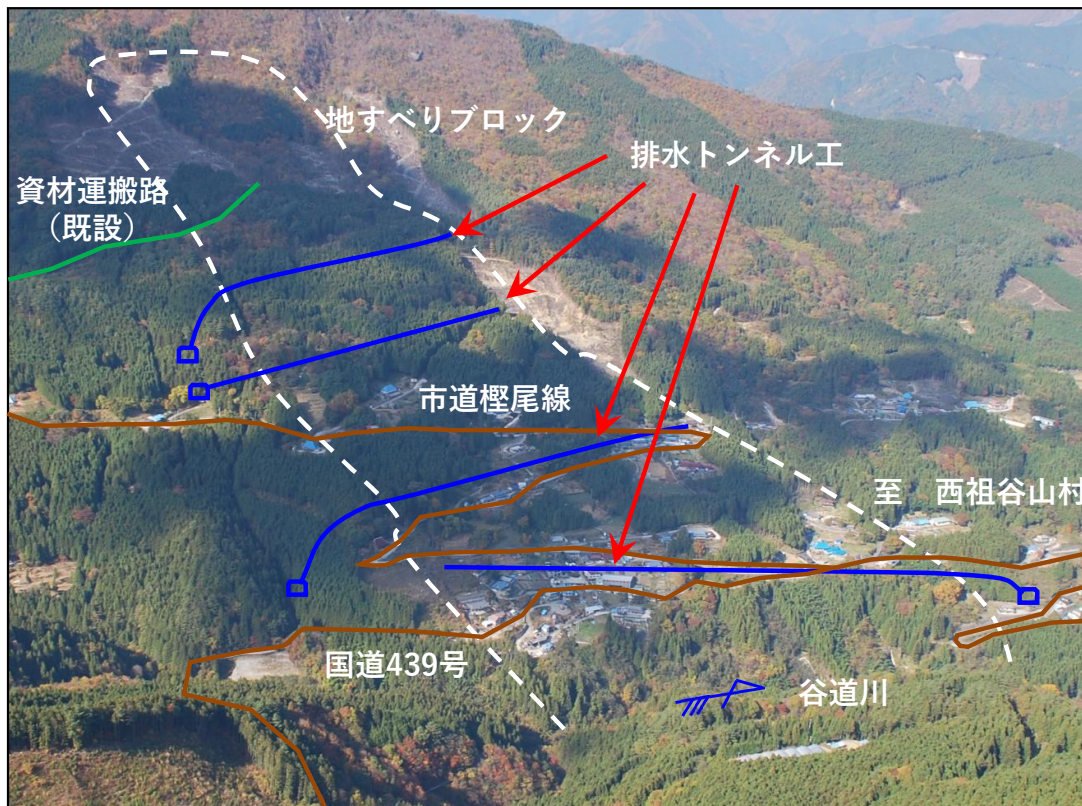
引き続き、地すべり活動の沈静化及び土砂等流出防止対策に取り組めます。

令和7年度末までの進捗状況 (進捗率は事業費ベース)

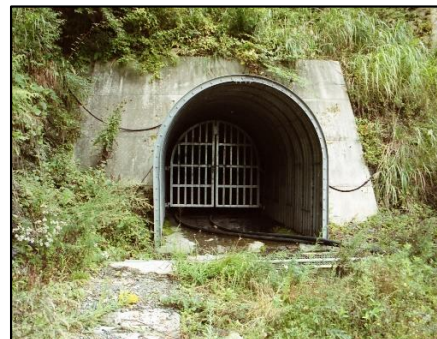
工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	20	基	9	基
山腹工	2.98	ha	0.21	ha
資材運搬路	3.24	km	2.30	km
計画額	6,607	百万円		
実行額	2,277	百万円		
進捗率	34	%		

事業実施状況 ② かしお 檜尾区域

檜尾区域 遠景



地すべり対策工（排水トンネル工）
施工状況（平成12年）



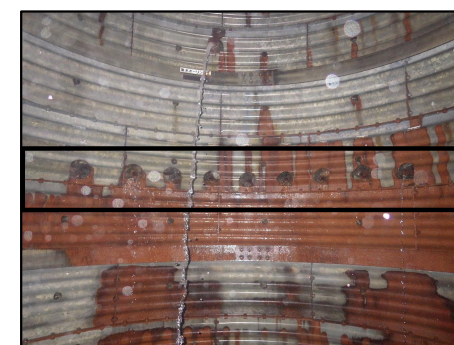
集水井の排水ボーリング



地すべり対策工（集水井工）
施工状況（平成30年）



集水井の中の集水ボーリング



降雨の影響による、地すべり活動によって、民家や道路構造物等に亀裂現象が発生し、地すべり活動と豊富な地下水が確認されたため、地すべり対策工（排水トンネル工、集水井工）を施工しています。

地すべりブロック末端部の溪流内では、溪岸崩壊が発生し、土砂等流出防止対策として治山ダム（谷止工、床固工）等を施工しています。

引き続き、地すべり活動の沈静化及び土砂等流出防止対策に取り組めます。

令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

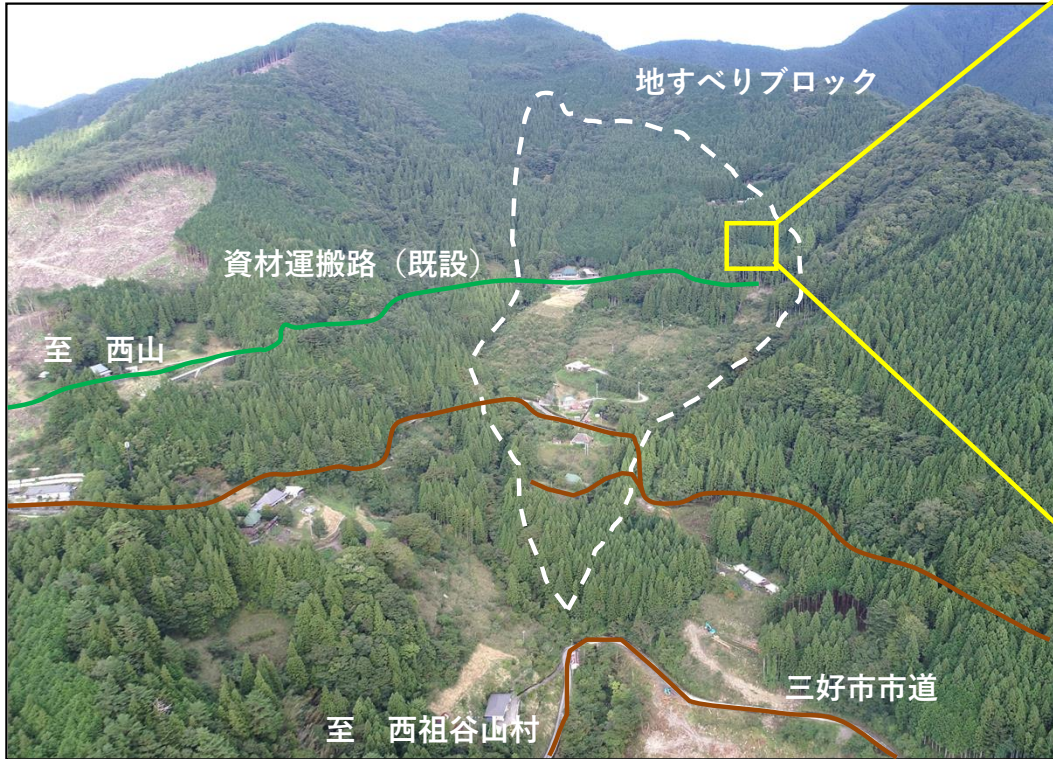
工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	29	基	29	基
山腹工	4.38	ha	4.21	ha
資材運搬路	4.54	km	4.60	km
計画額	15,717	百万円		
実行額	14,061	百万円		
進捗率	89	%		

※檜尾（上）・檜尾（中）・檜尾（下）・檜尾対岸区域の合計 4

事業実施状況 ③ 麦生土区域

むじゅうと

麦生土区域 遠景



地すべり対策工（集水井工）施工前



地すべり対策工（集水井工）施工状況（令和4年）



降雨の影響による、地すべり活動によって、民家や道路構造物等に亀裂現象が発生し、地すべり活動と豊富な地下水が確認されたため、地すべり対策工（集水井工、アンカー工）を施工しています。

また、林内斜面水路の荒廃が著しく、更なる侵食の拡大に伴う山腹崩壊を防止することを目的に山腹工（水路工等）を施工しています。

引き続き、地すべり活動の沈静化に取り組めます。

令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	16	基	16	基
山腹工	0.11	ha	0.11	ha
資材運搬路	3.04	km	3.04	km
計画額	3,079	百万円		
実行額	2,790	百万円		
進捗率	91	%		

※麦生土（右岸）・麦生土（左岸）区域の合計

事業実施状況 ④ 名頃(下)区域

名頃(下)区域 平谷被害状況(昭和39年)



治山ダム(床固工)等 施工状況(平成10年)



治山ダム(床固工)等 施工状況(令和元年)



豪雨により山腹崩壊が発生し、下流域へは大量の土砂等が流出し、大規模な溪岸浸食を起こしました。

山腹斜面では、降雨による更なる侵食の拡大に伴う山腹崩壊を防止することを目的に山腹工(水路工等)を施工しています。

渓流内では、土砂等流出防止対策として治山ダム(床固工)を施工しています。

引き続き、地すべり活動の沈静化及び土砂等流出防止対策に取り組めます。

令和7年度末までの進捗状況 (進捗率は事業費ベース)

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	33	基	30	基
山腹工	1.49	ha	1.49	ha
資材運搬路	1.92	km	1.92	km
計画額	3,399	百万円		
実行額	3,222	百万円		
進捗率	95	%		

にいや 事業実施状況 ⑤ 新居屋区域

新居屋区域 遠景



林内溪岸浸食状況 施工前



山腹工（水路工等）施工状況（令和3年）



豪雨により林内斜面水路の荒廃が著しく、更なる侵食の拡大に伴う山腹崩壊を防止することを目的に山腹工（水路工等）を施工しています。

林内の谷においては、堆積土砂等の流出が懸念されたことから土砂等流出防止対策として治山ダム（谷止工）を施工しています。

引き続き、地すべり活動の沈静化及び土砂等流出防止対策に取り組めます。

令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	10	基	9	基
山腹工	0.16	ha	0.16	ha
計画額	1,123	百万円		
実行額	1,098	百万円		
進捗率	98	%		

事業実施状況 ⑥ オオアレ・笹谷区域

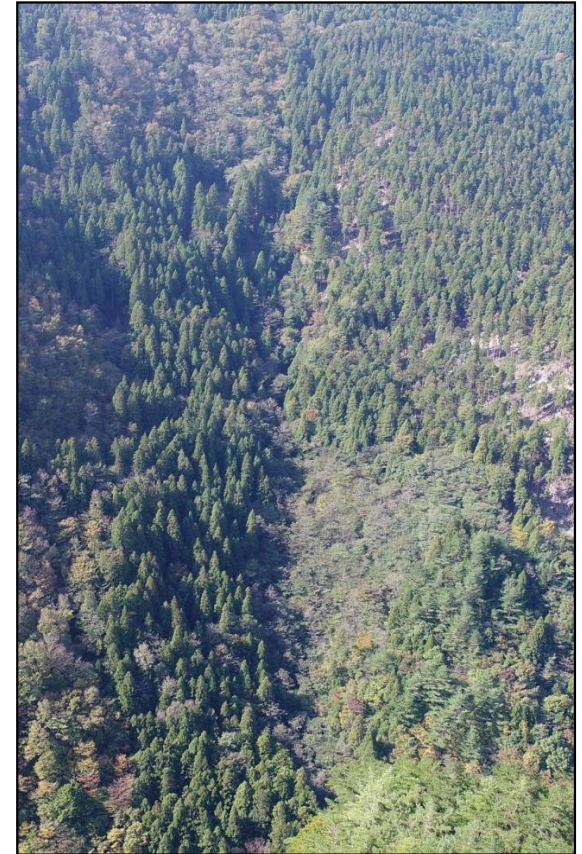
オオアレ区域 秋山谷被害状況（昭和46年）



山腹工（土留工、水路工等）等
施工状況（平成26年）



山腹工（土留工、水路工等）等
施工状況（令和元年）



豪雨により山腹崩壊が発生し、下流域へは大量の土砂等が流出しました。

山腹斜面では、降雨による更なる侵食の拡大に伴う山腹崩壊を防止することを目的に山腹工（水路工等）を施工しています。

渓流内では、土砂等流出防止対策として治山ダム（谷止工等）を施工しています。

引き続き、地すべり活動の沈静化及び土砂等流出防止対策に取り組めます。

令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	17	基	11	基
山腹工	0.25	ha	0.25	ha
計画額	900	百万円		
実行額	609	百万円		
進捗率	68	%		

※オオアレ・笹谷区域の合計

事業実施状況 ⑦ 小川区域

小川区域 地すべりブロック内 地すべり対策工（アンカー工等）
施工前状況



降雨の影響による、地すべり活動によって、民家や道路構造物等に亀裂現象が発生し、地すべり活動と豊富な地下水が確認されたため、地すべり対策工（アンカー工、地上集水ボーリング工）を施工しています。

地すべりブロック末端部の溪流内では、溪岸崩壊が発生したため、土砂等流出防止対策として治山ダム（谷止工等）を施工しています。

現在は、計画した地すべり対策工を実施し、地すべり活動は沈静化しています。

地すべりブロック内 地すべり対策工（アンカー工等）
施工状況（令和5年）



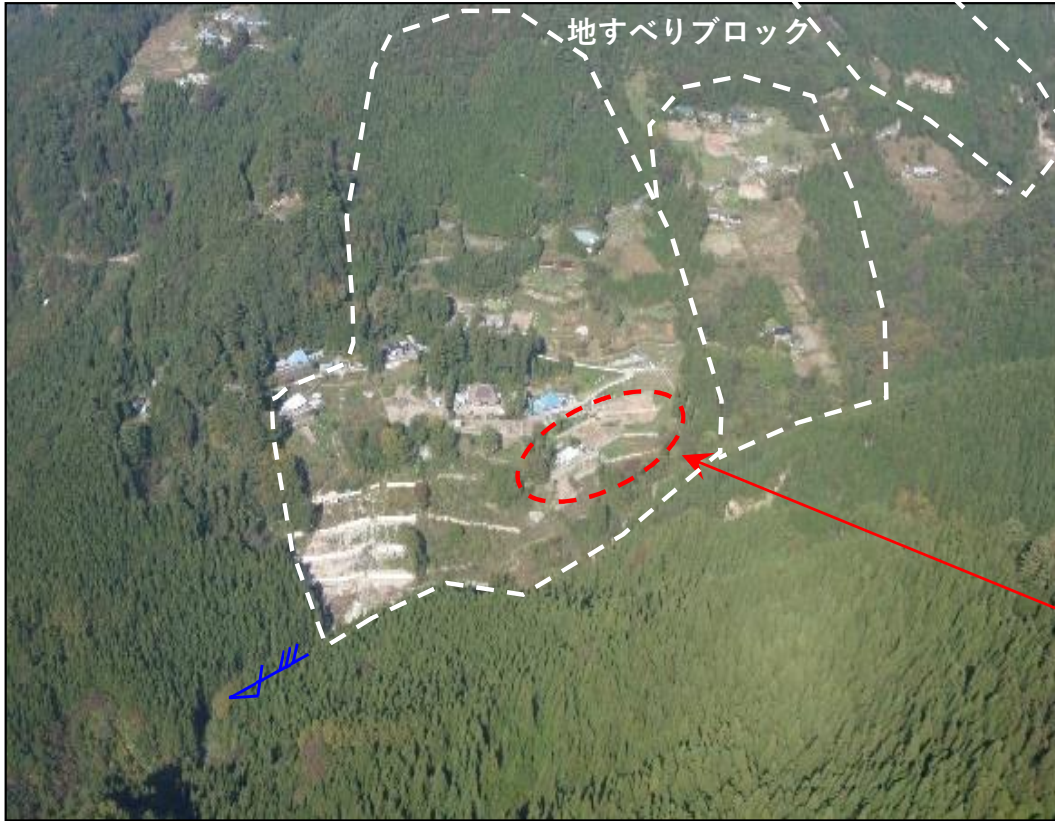
令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	8	基	8	基
山腹工	0.40	ha	0.40	ha
計画額	989	百万円		
実行額	989	百万円		
進捗率	100	%		

※小川（上）・小川（下）区域の合計

あさ 事業実施状況 ⑧ 阿佐区域

阿佐区域 遠景



民家 被害状況



道路擁壁 被害状況



地すべり対策工（アンカー工）施工状況（平成12年）



降雨の影響による、地すべり活動によって、民家や道路構造物等に亀裂現象が発生し、地すべり活動が確認されたため、地すべり対策工（アンカー工）を施工しています。

地すべりブロック末端部の溪流内では、溪岸崩壊が発生したため、土砂等流出防止対策として治山ダム（谷止工等）を施工しています。

現在は、計画した地すべり対策工を実施し、地すべり活動は沈静化しています。

令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	14	基	14	基
山腹工	0.21	ha	0.21	ha
資材運搬路	0.32	km	0.32	km
計画額	2,062	百万円		
実行額	2,062	百万円		
進捗率	100	%		

事業実施状況 ⑨ 切谷区域

きりたに

切谷区域 被害状況（昭和51年）



山腹工（土留工、水路工等）施工状況（昭和60年）



山腹工（水路工等）施工状況（令和元年）



豪雨により山腹崩壊が発生し、下流域へは大量の土砂等が流出しました。

山腹斜面では、地すべり活動が確認されたため地すべり対策工（アンカー工）を施工し、降雨による更なる侵食の拡大に伴う山腹崩壊を防止することを目的に山腹工（水路工等）を施工しています。

渓流内では、土砂等流出防止対策として治山ダム（床固工）を施工しています。

現在は、計画した地すべり対策工を実施し、地すべり活動は沈静化しています。

令和7年度末までの進捗状況（進捗率は事業費ベース）

工種	全体計画		実施状況	
	数量	単位	数量	単位
治山ダム	3	基	3	基
山腹工	1.69	ha	1.69	ha
計画額	670	百万円		
実行額	670	百万円		
進捗率	100	%		